

認知症ケア特別研修 I

開催要綱

趣旨 「認知症の人本人と家族介護者への理解」に焦点を当て、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発生要因を理解した上で、認知症の人とのコミュニケーションについて学びます。

また、在宅介護者の置かれている状況や心理を理解し、介護負担の軽減に向けた支援を考えます。

1. 認知症介護のスキルを高めます

認知症に関する基本的知識や認知症ケアの理念等を踏まえた上での生活支援を考えることで、認知症介護に携わる職員としてのスキルアップができます。

2. 認知症の人を生活障害という視点から考えます

中核症状の影響を理解した上で、改めて認知症の人の有する能力に応じたコミュニケーションについて考え、生活場面ごとのケアについて学びます。

3. 認知症の方本人だけでなく家族への支援についても考えます

在宅で介護する家族介護者に必要な支援について考えます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

認知症介護に携わる職員（社会福祉施設・社会福祉協議会等の職員）
高齢者福祉施設・事業所の施設長・管理者・看護師・相談援助職員など
*その他の公益法人等が経営する社会福祉施設・グループホーム等の職員で学習したい方も受講可能です。

配信期間

令和6年7月10日（水）～8月30日（金）

申込期間

令和6年5月10日（金）～6月7日（金）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和6年6月14日（金）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 60 分	講義 1 「認知症に関する基本的知識と認知症ケアの理念」	認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因について学び、本人・家族視点の重視といった認知症ケアの理念を理解します。
約 90 分	講義 2 「認知症の人の生活障害の理解とケア」	中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたコミュニケーションや認知症による生活障害について考え、本人が安心できる生活環境づくりや生活場面ごとのケアについて学びます。
約 60 分	講義 3 「家族介護者の理解と支援方法」	在宅で介護する家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解した上で、家族介護者に必要な支援について考えます。